ハンドマイク街頭演説原稿例　日米首脳会談

二〇二四年四月十三日　日本共産党埼玉県委員会・作成

　ご近所のみなさん、日本共産党です。この場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　テレビや新聞で報道されているように、日本の岸田総理とアメリカのバイデン大統領が会談し、「日米首脳共同声明」を発表しました。「未来のためのグローバル・パートナー」というタイトルですが、その中身はアジア太平洋地域の分断と軍事的緊張をさらに激しいものにし、地域の平和と安定を脅かす未来なき道だと言わざるを得ません。

　今回の岸田総理のアメリカ訪問は国賓、国のお客さまという扱いでアメリカから招待されたもので、２０１５年の当時の安倍晋三総理以来のことです。安倍さんの時は、それまで自民党政権が憲法違反としてきた集団的自衛権を使うことを認める閣議決定をした翌年のことでした。そして安倍さんはアメリカで、安保法制・戦争法を実現すると約束してきました。今回の岸田総理も、これまで憲法違反だとしてきた敵基地攻撃能力を持つ方針を書き込んだ安保３文書の閣議決定を受けたものです。アメリカ政府の関係者が、岸田政権の安保３文書改定などを高く評価する発言をしています。アメリカの軍事戦略にとって都合のよいことをした、そのごほうびとして招待されたようなものではないでしょうか。

　そして今回発表された共同声明は、安保３文書に基づく「防衛力の抜本的強化」の取り組みが「日米の防衛関係をかつてないレベルに引き上げ、日米安全保障協力の新しい時代を切りひらく」などと強調しています。その中身は、日米の軍事同盟をさらに危険な段階に引き上げ、これまでの日米安保からも大きく変えてしまおうとするものです。

　安保３文書に基づき、岸田政権は今までなかった陸・海・空の３自衛隊を一元的に指揮する「統合作戦司令部」を二〇二四年度中に設置します。そして日米共同声明では、「日米同盟をさらに前進させる」とし、何もない時でも戦争の時でも共同して計画を練り、一体となって動けるように、「それぞれの指揮・統制の枠組みを向上させる」と表明しました。この狙いは、長距離ミサイルなど敵基地攻撃能力を持ち、沖縄など南西地域での態勢強化を図る自衛隊を、アメリカ軍が進める中国への軍事戦略に組み込むことにあります。

　これが実現すれば、世界のどこかで有事になれば、日本の国土や国民が攻撃を受けていないのに、アメリカと一緒になって相手国を攻撃することになる危険があります。そうなれば、日本が戦争にむりやり参加させられ、日本の国土まで戦争に巻き込まれことになりかねません。実際、自衛隊の基地などが軍事攻撃を受けても活動し続けられるよう、基地を強化する動きが進んでいます。日本がアメリカの戦争に巻き込まれないようにするためにも、岸田自民・公明政権を１日も早く終わらせ、世界の平和に全力で取り組む新しい政治を、日本共産党とごいっしょに実現しましょう。

　自民党の裏金問題を最初に取り上げた、日本共産党の発行する「しんぶん赤旗」をこの機会にぜひお読みいただきますようお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）